

47・親子ソーラン節

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

今年も新型コロナの影響をかいくぐりながら無事に運動会を行うことができました。

コロナ以前は幼稚園と保育園が合同で「赤ちゃんからおばあちゃんまで全員で参加して」お昼のお弁当を家族で囲む楽しみも含めてのフェスティバルスタイルでしたが、年少以上の幼児種目のみ実施し、参加者は保護者と兄弟までに限定し（祖父母の皆さんごめんなさい(T-T)）午前中に終了する、というスタイルになりました。子どもたちの発達を実感していただくという目的からすれば必要最小限にコンパクト化することができて、コロナをきっかけに良い見直しとなったと考えています。

さて、その中でも新しく始めたことが「親子ソーラン節」です。

原町幼稚園では1993年から「ソーラン節」を導入しました。それまでは子どもたちの鼓笛隊（マーチング）を伝統的に披露してきたのですが、これが子どもの「やらされ感」がハンパなく発達に良い影響も無いだろうということで、私が原町にやってきて3年目に強引にソーラン節に切り替えることにしました。

ソーラン節は私が東京の幼稚園に勤めているときに覚えたもので、荒馬座という民族歌舞団の大人用ソーラン節を子ども用にアレンジして踊っていました。

<http://www.araumaza.co.jp/>

今は小学校でも「よさこいソーラン」などアップテンポな曲がよく踊られているようですが、ウチでは脇目も振らず同じものを続けてきました。そして約30年経ったので、そろそろ伝統と言っても良いのかなあ、という境地に達しています。

ソーラン節の良さについては、次頁の園便りの中に書かれていますが、毎年同じ踊りを年長児に伝えてきて、毎回子どもたちの意欲や成長が実感できるのでマンネリにならずに続けてこられたのだと思っています。

思いつきは、4年前の運動会でビデオ片手に我が子の姿を撮影するお父さん達の様子を見て「こんなにエネルギーの有り余っている父親たちのもっと有効な使い方は無いものか……。そうだ！一緒にソーラン節を踊ってもらおう！」そして、その年の運動会後に園便りに次のような文書を書いて『予告』しました。



親子ソーラン節の実施を予感させる手紙を1年前に発出。この時点では自分でもまだ迷っている状態でした。(^^)

ソーラン節・新しいステージへ

ソーラン節とのつき合いがこんなに長くなるとは思ってもみなかった。東京で幼稚園に就職するときの採用試験で踊らされたのが一番最初だった。第一次ディスコブームのまただ中に思春期だった僕は「洋楽じゃなくて民謡で踊るなんてダサイじゃん！」ってノリで、イヤイヤ踊っていた。それが年長を担任したときソーラン節の素晴らしさに目覚めたのだ。マスゲームのようにみんなで揃えることが目的ではなく、個々が自分の踊りを完成させることに力を注ぎ、それが群れになって踊ることによって見ている人にも力強さを演出できる！なによりクラスの子どもたちがソーラン節によって成長したり、自信を持ったりした経験が僕の認識を変えた。

原町幼稚園でも、僕が赴任してきた翌年に運動会の花形だった鼓笛をやめてソーラン節に取り組んだのが26年前だから、いま32歳以下の卒園生はソーラン節の経験があるということで、ずいぶんな歴史になったなあ、と感慨深い。

運動会の花形はなんといっても年長だ。年中少以下の組ではその年齢ごとに達成する「ねらい」はあるが最終的には年長につなげるための布石ともいえる。例えば年少組のリズムは、みんなで曲に合わせて楽しく人前で動く事ができればそれでよし、次に年中組になって花笠音頭を踊るが、年長に比べれば単純な振り付けを繰り返し踊ることで、民謡のリズムに合わせてたり足腰を鍛えていくことがねらいで、最終的に翌年のソーラン節につながってくる。年長組では、人前で踊ることの楽しさや合わせることを知った上で鍛えられた足腰を使って、より複雑な動きでソーラン節のストーリーを表現することができる。今のところこれに代わるものは思い付かない。

さて今年の運動会が終わって、**この素晴らしいソーラン節という活動をより高みに持っていけないものか**、つらつら考えていた。

運動会本番に、ビデオ片手に本部席の前で一生懸命撮影して下さるのはお父さん方が多い。まだ若くエネルギーも満ちているお父さんたちが、見て撮影だけとはもったいない、と思ったのだ。我が子の活躍を観覧することと、我が子と一緒に経験をすること、これを比較したとき、後者のほうが勝ると確信した。

人が尤もものを覚えるのは「人に教えた時」である。子供が教える立場になっても効果が高い。それに何より一緒に同じことに取り組むと言う事は、親子であってもありそうでなかなか無かったりする。それだけにかげがえのない体験になるだろう。

厄介だなと思うことを乗り越えた時に感じる喜びを親子で味わい、家族の行事の折にふれて踊ったり、成長した我が子と一緒に踊ったり、少なくとも「一緒に頑張ったよなあ〜」という体験は残るわけで、**二人の間にソーラン節という絆が生まれることを願いたい**。どんなふうに具体的に進めるのかは今後職員とも相談していかねばならないが、今のところ実現したいと思っている。

(2018年11月 園便りより)

ソーラン節やります！

翌年6月にはこの園便りで、自分の腹も決まり「やる！」ということを告知しています。こうして1年越しの思惑は動き出したのです。

昨年の園便り11月号に「ソーラン節・新しいステージへ」という文章を載せましたが、年長の皆さん（昨年は年中組だったので気にもしていなかったでしょうが）覚えていらっしゃるでしょうか？ いよいよそのときが近づいてきました。

そうなんです、今年のソーラン節はお父さん方も踊って頂きます。原町でソーラン節を踊り続けて26年、初の試みとなります。「なんだよ一面倒くさいことになっちゃったなあ」「よしてくれー」っていう声もあるでしょう。(^^;)カカ双…

5/28日に起こった川崎市登戸駅付近の路上で起きた殺傷事件。ひきこもりで孤立した51歳男が包丁で次々と通行人やバス待ちの小学生を刺して自殺した。この事件に日本中が大きな衝撃を受け、全国で60万人とも100万人とも言われる大人のひきこもりの人たちにも大きな波紋が広がった。

僕も子どもたちを守ることに、育てることの両方で考えさせられた。

この犯人は小さい頃に両親が離婚し叔父の家に引き取られ育成環境もよくなかったようだが、子どもの頃はきっとかわいい時代があったはずだ。成長していく過程で世間への敵対心が醸成されていったということだろうか。今後専門家の皆さんが分析をして、推測は出してくれるだろうけど本当のところはわからない。本人が生きていたとしても分からないかもしれない。とにかく家族や世間との関係を良好に保つことは大事だよ！ってことは日本中が感じたはずだ。

そこで、「なんでソーラン節なの?!」ってところですが、親子の繋がり（絆と言うべきか）を考えたときに、「絆を深めることがだいじ！」っていうのは誰でも言えることだけど、じゃあなにをしたら絆が深まるの？、と聞かれたとき何を思い浮かべるでしょう。家族の団らん、思いやり、一緒にあそぶ、家族でお出かけをする、スポーツの応援をするなどいくつか思いつくでしょう。どれも大事なことです。さらにレベルアップして我が子と趣味を共有できたというステキなケースもあるでしょう。でもなんだかふわふわしていてコレだ！という核心的なものではない。それに大人の側からのアプローチなので、ほんとに子どもに気持ちが醸成されているのかどうかは定かではないし、大人の自己満足に終わることもあるだろう。

しかし、実際のところ、そんなところで十分家族の絆を感じられる人が大半なのだと思います。

そこに…お節介なことかもしれませんが…

『親子ソーラン節を運動会で発表する』というミッションも加えて欲しいのです。

親子関係って、大人が子どもに教えたり伝えたりすることが圧倒的に多い。それは当然なんですけど、子どもの側から「教える・伝える」というスタンスで家族に関わっていくことを促し、受け止めてもらい、作り上げた喜びを味わって欲しいし、より一層関係を深めて欲しいと願っています。

子どもとの関係ってずーっとうまくいくとは限らない。趣味を共有している親子だって子どもの成長につれてギクシャクする時もある。そんなときでも、確かに「一緒にやった！」ってことを思い出すだけでもいいじゃないですか。ぜひ、このミッションをコンプリートして、将来生きてくるかもしれない大切な絆を一本作ってほしい。頑張ってください！

最後に、なぜお父さんにターゲットを向けたかという点、お母さんは子どもとの関係性において、一歩も二歩もリードしている家庭が多いからです。お父さんがいらっしゃる方はお母さんでも家族でも結構、同じ効果を得られると思います。（2019年6月園便りより）

手紙にも書いてあるとおり、父親達のソーラン節は、我が子から「踊りを教わる」というところが肝心なところで、園からは動画などの“資料”は出さず、踊り方の書いたお手紙と、YouTubeにUPした音楽のみで各自自主練習していただくこととなっています。

子どもが教える。子どもに教わる。

これがいろんな意味で教育的効果が高いわけです。しかも教わった結果をみんなの前で披露するという「舞台」も整っているので親子の姿勢も問われてきて、いい加減にスルーすれば「チカラ抜いたな！」という評価を甘んじて受けねばなりません。

実施初年度、母親たちからは絶賛されていましたが肝心の父親達はまだまだ重い腰が上がりませんでした。

今年、実施3年目の園
便りは「やるもんだ！」前提
でシンプル、かつ理屈で押し
ております(^_^)

仕事から帰ってから練習ってキツイ。
子どもがしっかり覚えてきてくれない。
ナンデこんなことやらされるのか。
などの悲鳴が聞こえてきていました。
それでも、我が子の担任から「がんばってください♡」と言われればやらざるを得ないので
す。(^-^)

そして今年は3年目、コンセプトが良かったのか素晴らしいスピードで親子ソーラン節は定着し、踊りのレベルも評価も上がって参りました。多少強引でも、園が良いと思うことはやってみる価値があるものだと改めて思ったのであります。

親子ソーラン節に向けて

2021.10.1.原町幼稚園 園長 鶴谷主一

ソーラン節の練習は進んでいますか？ここでもう一度、親子ソーラン節の目的を確認しておきましょう。子どもたちが親に伝え教えるという経験を楽しく一生懸命にやる（←ここがキモです）ことで、幼児期に育てねばならない「非認知能力」の中の対人関係や、グリットと言われるやり遂げる力を伸ばすこと、親が踊れるようになってくることで自己肯定感・自己効力感がアップすることも目的としています。ただ単に踊りを覚えることが目的では無く、お子さんから伝えてもらうことを真剣に受け止めて（踊りの上手下手はおいといて）同じ目標を持って努力することがだいじです。運動会が終わった後に『親子関係が以前より深まったね！』という結果が出れば嬉しい限りです。（後略）

ソーラン節

1番
やーれんそーらん そーらんそーらん やれんそーらん はいはい！
おとこどきょうは ごしやくのからだ
どんとのりだせ なみのうえ
ちよい やさ えーえんやーさーのー どっこいしょ
はーどっこいしょ どっこいしょ

2番
やーれんそーらん そーらんそーらん やれんそーらん はいはい！
ふねもあたらし のりても わかい
いちじょうごしやくのろもしなる
ちよい やさ えーえんやーさーのー どっこいしょ
はーどっこいしょ どっこいしょ

3番
やーれんそーらん そーらんそーらん
やれんそーらん はいはい！
にしんきたかと がもめにとえば
わたしやたつとり なみにきけ
ちよい やさ えーえんやーさーのー
どっこいしょ
はーどっこいしょ どっこいしょ

※4番は1番の振りで踊ります



今年の運動会が終わって、年長組保護者の、主に母親からいただいた感想からソーラン節に関するものをご紹介します。こういう生の声に成果を感じます。

保育園母

パパとのソーラン節

の練習も毎日欠かさずに、多い日には一度に10回以上踊っていました。息子の教えかたがなかなか上手で思わず笑ってしまうほどでした(笑)

保育園母
年長1番の見せ場
であるソーラン
節。

落ちこぼれ生徒(パパ)に熱血指導をしつつ、本人も細かい動きを何度も確認しながら家で練習をしていました。練習の甲斐もあり、皆んなの動きが揃っていて迫力があって子供達の成長を感じながら少しウルッとしてしまいました。

幼稚園母

ソーラン節は直前に息子から夫への最終チェックがあり、いろいろダメ出しをしていましたが、なんとか納得したようです。

保育園母

ソーラン節も振り
付けを何度も確認
私にももう1回や
ろう！もう1回！

と、かなりスパルタで教えてくれましたw関係の無い2番3番までやらされましたw練習の成果もちゃんと出せたソーラン節だったと思います(^)みんなとても上手だった♪そして周りのお父さんお母さんが上手すぎて私もちゃんとやっつけば良かったと反省笑

幼稚園母

筋トレを真面目に

行いながら「手はこうかな？」
「足はこっちを先に出すんだ」とコツコツと練習していました。

パパとの親子ソーランは、2人とも腰も低く、大きな声ですが親子！！とパパも最高の思い出ができたと喜んでいました。

保育園母

お父さんと一緒に踊るその瞬間は息子が最も待ち望んでいたものでした。そして、終わりは壮観で感動的でした！

保育園母

16年間保育園に通った記憶

が走馬灯のように蘇ってきました。とくに運動会は我が家にとって思い出の強いイベントです。(中略)ソーラン節では表情が一変し、普段のおちゃらけは全く無くカッコいい漁師の子どもみたくでした。初めての親子ソーランは「ちがう！ここはこう！」と父に教えている姿に成長を感じ、父も共演できることを「幸せなこと」としみじみ。並ぶ位置が最前列センターと分かり「完璧に踊れるようにがんばる！」と全力の父のソーラン節は大爆笑となりました。

何かがおかしい！？

幼稚園母

特にソーラン節は

小さな頃は引っ込

み思案で恥ずかしがり屋さんの娘があんな逞しい表情でしっかりと踊ってくれた事、そして私に毎日踊りを教えてくれた事に頼もしさを感じてしまいました。

親子共々良い経験をさせて頂きました。

ソーラン節に取り組んでみようという方がいたらご連絡ください。振り付けのプリントをお送りします。(^^)/



原町幼稚園 園長 鶴谷主一（60歳）
 HP : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>
 MAIL : office@haramachi-ki.jp
 Twitter : @haramachikinder
 Instagram : haramachi.k

▶ご感想・ご意見ご質問等ありましたら

気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | |
|---|---|
| <p>第1号 エピソード (2010.06)</p> <p>第2号 園児募集の時期 (2010.10)</p> <p>第3号 幼保一体化第 (2010.12)</p> <p>第4号 障害児の入園について (2011.03)</p> <p>第5号 幼稚園の求活 (2011.06)</p> <p>第6号 幼稚園の夏休み (2011.09)</p> <p>第7号 怪我の対応 (2011.12)</p> <p>第8号 どうする保護者会? (2012.03)</p> <p>第9号 おやこんぼ (2012.06)</p> <p>第10号 これは、いじめ? (2012.09)</p> <p>第11号 イブニング保育 (2012.12)</p> <p>第12号 ことばのカリキュラム (2013.03)</p> <p>第13号 日除けの作り方 (2013.06)</p> <p>第14号 避難訓練 (2013.09)</p> <p>第15号 子ども子育て支援新制度を考える</p> <p>第16号 教育実習について (2014.03)</p> <p>第17号 自由参観 (2014.06)</p> <p>第18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09)</p> <p>第19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12)</p> <p>第20号 ITと幼児教育 (2015.03)</p> <p>第21号 楽しく運動能力アップ (2015.06)</p> <p>第22号 〔休載〕</p> | <p>第23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019</p> <p>第24号 お話あそび会その1 (発表会の意味)</p> <p>第25号 お話あそび会その2 (取り組み実践)</p> <p>第26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える)</p> <p>第27号 おもちやのかえっこ (2016.12)</p> <p>第28号 月刊園便り「はらっば」 (2017.03)</p> <p>第29号 石ころギャラリー (2017.06)</p> <p>第30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09</p> <p>第31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12</p> <p>第32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03</p> <p>第33号 〔休載〕 (2018.06)</p> <p>第34号 働き方改革・一つの指針 (2018.09)</p> <p>第35号 働き方改革って難しい (2018.12)</p> <p>第36号 満3歳児保育について (2019.03)</p> <p>第37号 満3歳児保育・その2 (2019.06)</p> <p>第38号 プールができなくなる!?! (2019.09)</p> <p>第39号 跳び箱 (2019.12)</p> <p>第40号 幼稚園にある便利な道具 (紙を切る) (2020.03)</p> <p>第41号 コロナ休園 (2020.06)</p> <p>第42号 コロナ休園から再開へ (2020.09)</p> <p>第43号 ティーチャーチェンジ (2020.12)</p> <p>第44号 除菌あれこれやってみた (2021.03)</p> <p>第45号 マスクと表情 (2021.06)</p> <p>第46号 感染予防と情報発信 (2021.09)</p> <p>第47号 親子ソーラン節 (2021.12)</p> |
|---|---|